

## 授業中の理解度把握

# 明治大学

明治大学では、15年度より大規模教室での授業改善に携帯電話を活用する実験を始め、17年度には全学共通のシステムを構築して多くの授業に取り入れている。主な目的は、授業中の理解度を把握するための小テスト、質問・意見の受け付け、講義まとめなどの小レポート提出となっており、小テストの結果、学生の意見などはスクリーンに提示して教員と学生の意識を合わせ、授業の双方向性を高めている。

### 1. 実施規模

情報コミュニケーション学部（政治学・情報倫理）  
政経学部（日本文学）、法学部（憲法）、商学部（西洋文化史）  
経営学部（日本語論）、農学部（生体機構学）など  
システムへの登録学生数 3,956 名

### 2. 授業での使用内容

5分程度の制限時間内に携帯電話から出席確認を行う。この時、パスワード、座席番号などを組み合わせて不正を防止している。選択問題の小テストはあらかじめ教員用のWebページで設問を作成し、教室で集計結果をグラフなどで提示できる。教員がテーマを提示し、学生に自由記述式で回答させる方法が最も効果的である。個別性の高い質問などがあった場合には、質問した学生に限定してアドバイスを送信することもできる。



認識度アンケート

- よく知っている。詳しく説明できる。
- 知っているので、少しは説明できる。
- どんなものか知っている。
- 聞いたことはある。
- 全く知らない。

送信 (携帯電話のアンケート画面)



### 3. メリット

- ① 学生の意識・疑問点をストレートに反映できるため、質問の件数が以前より10数倍に増えた。授業の後に口頭で質問に来る学生も増えており、授業参加意欲を高めるきっかけとなっている。
- ② 意見を取りまとめてクラスに配付すると学生は大変熱心に読んでおり、クラスのアイデンティティー形成に役立っている。
- ③ 毎回の小テスト結果を累積して学生の総合評価に用いることができるため、定期試験への依存度を少なくすることが可能となった。

### 4. 今後の課題・計画

学生とのインタラクティブ性が高まるが、それだけに、今後は、限られた授業時間の中で学生個々の意見に対する教員の適切な対応が求められる。

出席状況		講義設定	設問設定	メール	サポ		
火曜2限	現代政治論A	水曜3限	川島高峰・森塚ゼミ	水曜5限	政治コミュニケーション		
火曜2限	現代政治論B	水曜2限	政治学	金曜2限	政治学B		
				月曜1限	ア		
前期 金曜2限 政治学A							
講義日選択							
コピー	元	先	談定	講義日	タイトル	設問タイプ	
	<input checked="" type="radio"/>		談定	グラフ	2006/04/14	ガイダンス・アンケート	テスト
	<input type="radio"/>		談定	グラフ	2006/04/21	小テスト 設問は授業時に指示	テスト
	<input type="radio"/>		談定	グラフ	2006/04/28	授業評価	テスト
	<input type="checkbox"/>		談定	グラフ	2006/05/05	テスト/アンケートは設定されていません。	
	<input type="radio"/>		談定	グラフ	2006/05/12	授業アンケート	テスト

(教員用管理Web画面)

《問合せ先》

明治大学 情報システム管理課 Tel:03-3296-4390 ma81007@isc.meiji.ac.jp